



ききょう便り

平成24年 春号(第29号)



岡谷町の桜並木

今、人に尽くして自己の将来に備える

理事 宮下 桂一

4月に入り、春の嵐が吹いた日の上毛新聞の一面トップに、県高齢者保健福祉計画「特養3年で1,235床増」という記事が出ました。

本県の特養の定員は、昨年3月末現在で8,062人で、入所を希望する待機者は、昨年5月1日現在で8,965人に上るとのことです。

私自身は65才を越えて残りの人生を考えると「いつまで車が運転できるのか」

「人様の手を借りずに普通の生活をしていられるか」と健康面での心配は日毎に増してきます。

若い頃には考えもしなかった毎月一度の病院通いが、今では当たり前になっています。年齢を感じると共にスポーツジムに通うなど、体力の維持を心掛けるようになりました。

第一次団塊の世代の人達が急速に高齢化に向かっていますが、核家族化した現在社会で、老々介護や老人の孤独死等の深刻な社会問題が目立ってきました。人の繋がりが希薄になる中で、国が進める在宅介護政策には限界があります。昨年の3.11の大災害の後に、地域の中の人と人の繋がりが改めて見直されています。安心・安全の社会を維持していくためには、これから益々特養などの介護システムの重要性は増して参ります。

職員の皆様の介護現場でのご苦勞をみていますが、親切丁寧な介護の更なる向上を目指し、入所者、利用者、その御家族の方々に信頼されご利用いただけるように、私達も一丸となって努力して参ります。

桜が咲いたら皆様と一緒にのお花見を楽しみにしています。



社会福祉法人 桔梗会

特別養護老人ホームききょうの里
ききょうの里短期入所生活介護事業所
ききょうデイサービスセンター
ききょうの里居宅介護支援事業所
沼田市在宅介護支援センターききょう

ききょうデイサービスセンター岡谷
ききょうヘルパーステーション

〒378-0002

群馬県沼田市横塚町957番地2

TEL 0278-23-8831

FAX 0278-23-8832

〒378-0061

群馬県沼田市岡谷町687番地

TEL 0278-23-8861

FAX 0278-23-8852

発行責任者 諏訪 光生

見て見て！ロング（通称）のこんなトコ！！

従来型入所施設って、どんなトコ？

女性21名・男性3名の介護スタッフで、常時55名前後の利用者様のお世話をさせて頂いております。今回はその仕事風景を、チョットだけ覗いてみたいと思います。



ベッドから車いすへ乗り移る際、「こちらに移っていただいて宜しいですか？」と声掛けし、ひと呼吸おくと、利用者様は安心して移って頂けるんですよ。



お粥・おかずの混ぜ込みは、味や見た目を損なうだけでなく、お粥の水分が出てしまいムセ込みの原因に。声掛けを行いながらも安全に飲み込めているか、プロの視線が光ります。

和やかな雰囲気の中でお食事して頂けるよう努めています。



レク好き職員の必須アイテム、大きなゴム風船とマイク型カラオケ。昭和時代の曲を中心に選曲しています。老人会のカラオケ大会で歌われていた利用者様も多く、昔懐かしい歌謡曲や唱歌など知っている曲が多いんですね。♪♪♪

居室・廊下・トイレ・手洗い場・収納などをリフォーム



居室と廊下の床はやわらかく、弾力性に富んだ材質に変更。壁は年数と共に薄暗い印象となっていました。新しく張り替えて明るくなりました。国産の衣装ダンスとあわせて、より「住空間」を意識した内装となっております。

窓はペアガラスにした事で、結露を防ぎ、窓側特有のひんやり感も減少しました。

トイレは可動式の手すりや背もたれを付けた事で、安心してご利用できるようになっております。手洗い場も車椅子が入れるようになり、より使いやすくなりました。

（従来型 小菅貴昭）

フォトアルバム(行事紹介)

お花見特集



ユニット型・敷島公園



従来型・沼田公園



ききょうデイサービス
あぐりーむ昭和



デイサービス岡谷
岡谷町の桜並木

「100歳まで続けたい」

ききょうデイサービスセンターに通われて今年の1月で丸7年になった利用者様のAさんという方がいます。ご利用の度に、マグカップ洗いや洗濯物たたみ、午睡の後、枕やタオルケット等の後片付けを積極的にやって下さいます。とある日「いつも助かります。ありがとうございます。」と話し掛けると「これは私の仕事。リハビリだからいいんだよ。」とマグカップを洗いながら笑顔で答えて下さり、洗い終わると私の所へ来、「実はね…」と自らの過去を話して下さいました。

「ここへ初めて来た時は頭も白髪だらけで、腰も職員に支えてもらっていても立ってられないし、歩くことすら難しかったんだよ。それに顔が曲がっていて(麻痺)、家に閉じこもりがちだったから、どうしていいのかもわからなかったんだ。でもね、ここの職員やみんな(他利用者様)に支えられて、今みたいに動けるようになったんだよ。顔も曲がらなくなったし、牛乳も嫌だったけど飲むようにしたら、腰も立ってきて怪我もしなくなった。マグカップ洗いや洗濯物たたみはまだ2年くらいしかしていないけど、これのお陰で毎日とても楽しくデイサービスに通うことができるんさ。続けることが大事。役割があるっていいよ。100歳まであと何年かあるからそれまでは元気でこの仕事(リハビリ)を続けたいんだ。」

とても立派で前向きな考えに私は気の利いた返事もできず、ただうなずくだけで聞き入ってしまいました。

家から出てデイサービスという知らない場所へ行き、行くだけでも勇気がいることなのに、初対面の利用者様や職員と話したりふれ合ったり、一緒に食事をしたりゲームをしたり、慣れるまでは気が気では無いと思います。また慣れたとしても、それ以上の何かをやってみよう、挑戦してみよう、という行動力や向上心って口に出して言うのは簡単ですが実行する事ってとても難しい事だと私は考えています。

人はそれぞれ役割を持って生きています。その役割が大きい小さいかは考え次第ですが、Aさんのように今ある自分の役割を大いに全うできているだろうかと考えてみると、自分の努力の足り無さに気付かされます。

私もいつまでも目標を持ち、それに向かって妥協することなく努力し続けていける、そんな職員になっていきたいと感じました。

(ききょうデイサービスセンター 宮野入)



「お坊さんかい?」「いえいえ、支援センターききょうの尾崎好宏と申します。よろしくお願いたします。」こんな自己紹介を繰り返し、早一年が経ちました。

本業は、一人暮らしの高齢者や日常生活に何か支障がありお困りの方のお宅へ伺い、介護や医療、その他保険関係や行政サービスなどの説明や手続きの代行、生活全般のなんでも相談を受け賜っています。があ…、ほとんどの場合は、お茶飲み話ばかりしていたりして…。今後もし、私が訪問する事がありましたらお願いがあります。私はお坊さんではないので、決してお米や野菜、お菓子などの供物は与えないで下さい。手を合わせて合掌しないで下さい。それと、縁起が悪い等と言ひ、玄関を閉めないで下さい。本業は、気の弱い、やさしい相談員です。もし、お困り事や相談事、お坊さんの様な相談員を見てみたいという方は、下記へぜひ、お電話下さい。

もう一度書きます。支援センターききょうの尾崎好宏です。 ※お坊さんではないので、会ってもご利益はありません。
在宅介護支援センターききょう Tel 0278 (23) 8816



職員紹介

この職に就いて

人の一生とはどの位でしょうか？

現在、日本人の平均寿命は女性が 86.39 歳、男性が 79.64 歳だそうです。

人は一生でどの位の人々と関わりを持つのでしょうか？

道ですれ違う程度の人まで含めると約 5 万人と言われているそうです。

当施設にご入所いただいている方々の平均年齢は、女性が 88.08 歳、男性が 85.58 歳で、いずれも長い人生を歩み、大勢の人々と関わりを持ち、様々な経験をされてきた方々です。

そんな方々にとって、私が携わらせていただいている時間はほんの瞬間にすぎず、道ですれ違う程度と変わらないのかもしれませんが。

だからこそ、「その方を知る為の努力を惜しまない事が大切」だと考えています。私ひとりでは何もできず、周囲の方々に助けられ、それでも今はまだまだ至らない部分も多いですが、「いつかは今以上にお役に立てるようにできれば…」と思っています。

私はこの職に就いた事により、長い長い人生のひと時に携わらせていただける事に感謝しています。



生活相談員
森山 滋

ケアマネ

一口メモ

花曇りの午後…

そうそう、今年は昭和 87 年になります。A さんは大正 12 年生まれでしたっけねえ。13、14 と 2 つ足して 87+2 で 89。数えで言えば 90 才の卒寿にあたります。

ちょうど大正元年が子年だから「亥年生まれでしたか？」

「そうだよ、よく知ってるね。関東大震災があって、おっかさんはおっかないもんだから、おっばいもろくすっぽ出なかつたって。だからあっちゃあ一昔から小っちゃいんだよ。でもね『亥の年は、潔白できまりよらしく、強き気性で』って言うけど、そりゃあ稼いださ。蚕だって 2 人で 60(※)は掃いたよ。お蚕様は生き物だからね。休むわけに行かねえ。桑の葉も爪をつけてこうやって…。帯戸だって終い湯のあと居眠りしながら磨いたさ。」(※蚕卵 60g のこと)

「子どもはできたんだけど、だめんなっちゃって…。まさか自分だけこの年まで生きるとは思わなかった。早くお迎えが来ねえかとそればっか思ってる始末さ。まさか自害もできないし…。」

ケアマネは幾度となく聞いた一しかしその度に重い一会話からとうとう中座できませんでした。生意気なようですが、私みたいな仕事が成り立つぐらいに高齢者が増えて、で、それは日本が豊かになったからで、誇りに思います。だから A さん、たまには自分を褒めてやってもいいんじゃないですか？

「そうかねえ。そんなこと言うてくれるのはあんただけだよ。生きてる内は生きてるから。アハハまた寄っとくれ。」

梅と桜と木蓮とレンギョウまでもが一緒に咲いている花曇りの午後、A さんの孤独は、なぜか自動車飛び込みのあった東京の雑踏の独り身の孤独に重なって、ケアマネの胸の奥の奥に届きました。頑張らなくていいから一緒に年を重ねましょ、一日一得。

(居宅介護支援事業所 大平)



桑爪



☆☆今後の予定☆☆

☆ききょうデイサービスセンター

5月 新緑ドライブ・外食会(中旬)
陶芸(中旬～)

6月 誕生会(19～21日)

7月 七夕そうめん(上旬)

衣類販売(中旬)



☆ききょうの里(従来型) ☆ユニット型

5月 新緑狩り(中旬)

母の日・誕生会(20日)従来型

6月 前橋バラ園見学(上旬)ユニット型

7月 夏祭り(中旬)

☆ききょうデイサービスセンター岡谷

5月 沼田公園散策(中旬)

田植え(下旬)

6月 屋内運動会(中旬)

7月 七夕まつり(上旬)



◇◇編集後記◇◇

今年の桜は例年より遅い開花となり、ききょうの里の桜も今満開となっています。

やっと咲いたと思ったら、まさに“春に三日の晴れ間なし”で天気はころころと変わり、ぽかぽかの「お花見日和」が続きませんが、春を感じるにはやっぱり桜が一番です。

さて、冬の間ご迷惑をおかけした施設の大規模修繕工事は、3月末に無事終了しました。ホールは空調設備が整い、暑い夏も快適に過ごしていただけるようになりました。ご協力ありがとうございました。

(総務 中山)